



環境

地球に優しい自然エネルギーの活用を進めるとともに、環境を守り育てる取り組みにも力を入れていきます

家庭での節電を促進します

▶ 8,980万円

市民に節電の実践を呼び掛ける節電キャンペーンや、対象となるLED照明を購入した方にICカードSAPICAを交付するLED推進キャンペーンを実施。また、消費電力量をモニター表示する「見える化機器」を貸し出し、家庭での節電の定着を図ります。

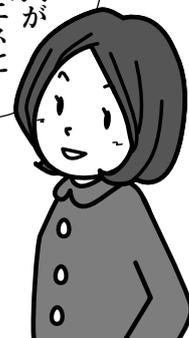
新エネルギー・省エネルギー機器の導入補助

▶ 5億200万円



市民や中小企業者などが、太陽光発電や蓄電システム、高効率給湯暖房機などの新エネ・省エネ機器を導入する際、費用の一部を補助します。

私たちが一人一人が節電などの省エネに大切な取り組みが



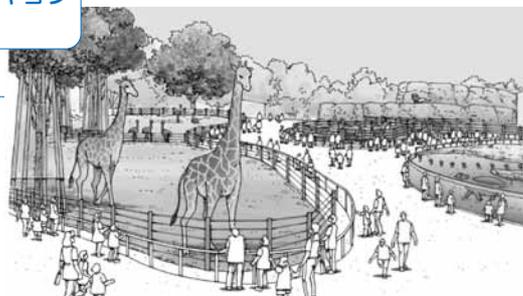
LED照明の購入者へのSAPICA交付は24ページ、新エネ・省エネ機器の導入補助は31ページに、募集のお知らせを掲載しています。

円山動物園に新施設を整備

▶ 2億9,190万円

アフリカのサバンナや水辺に生息する動物を中心に展示し、動物たちの共生や食物連鎖、命のつながりを伝えるアフリカゾーンを建設します。また、国際的な施設基準に基づく新たなホッキョクグマ館の建設に向け、計画づくりを始めます。

アフリカゾーンは27年度、新ホッキョクグマ館は28年度にオープン予定



アフリカゾーンのイメージ図→

ほかにも

大規模太陽光発電の設置支援(1億円)、エネルギー施策の検討(2,700万円)、都心部での民有地緑化助成やみどりのボランティア育成支援(3,300万円) など



都市空間

都心部を整備し、市民をはじめ、観光で札幌を訪れた人たちも魅力を感じられるまちにします

北1西1地区の再開発を推進

▶ 3億7,060万円

新たな都心のまちづくりを先導する北1西1地区の再開発事業を、事業費の補助などにより支援します。また、同地区に、ホールや図書館を備えた文化芸術拠点となる(仮称)市民交流複合施設を建設するため、計画の検討を進めます。

施設は30年度にオープン予定

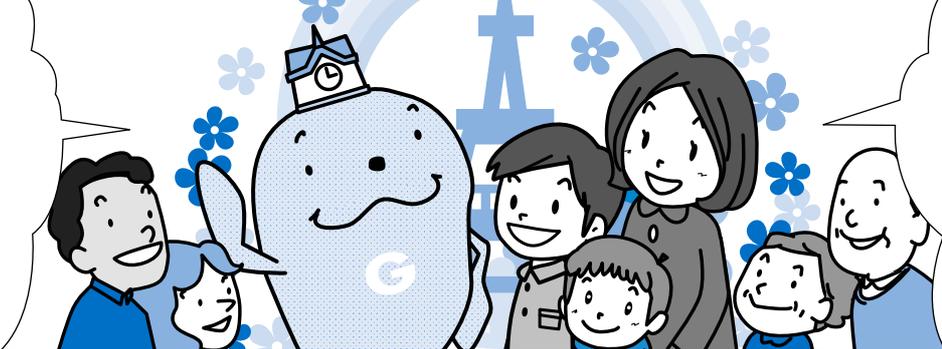


ホールのイメージ図

ほかにも

市有施設の保全(21億4,300万円)、北8西1・南2西3南西地区などの再開発を支援(3億8,800万円) など

誰もが安心して暮らし、みんなが笑顔になれるまち。これからも、そんな札幌を一緒につくっていきましょう！



経済支援など今すぐ対策が必要なことから、地球環境など未来を考えたものまで、たくさんの方の取り組みを計画的に進めていくんだね